

情報科学技術レターズ巻頭言

情報科学技術レターズは、情報処理学会、電子情報通信学会情報・システムソサイエティおよびヒューマンコミュニケーショングループが共同開催する情報科学技術フォーラム (FIT: Forum on Information Technology) で発表される論文を収録した論文集です。2002年に創設されたFITは今回で第4回目を迎え、日本における情報科学分野の最大の学会大会として定着しました。

今回のFITでは、分野と研究会の多様性が反映されるよう論文査読体制を整備しました。まず、新設の研究会・委員会を含めて合計62研究会・委員会を15分野に再編成した上で、各分野に分野責任者を置き、それぞれの分野で独立に論文査読の検討と実施を行う体制をつくりました。次に、査読付き論文を受け入れる13分野では、FIT情報科学技術レターズに掲載された論文が、学会論文誌に掲載されているレター、テクニカルノート、ショートペーパー、研究速報等と同等の位置づけであることを確認した上で、その分野にふさわしい査読付き論文採択基準とそれにもとづく査読結果記入フォーマットを作成し、その内容をプログラム委員会に開示しました。これによって、査読付き論文については、従来のように一律に投稿論文の1/3程度を採択するのではなく、分野の特質を反映した分野ごとの基準で採択論文を決定することができるようになりました。以上のような過程を踏まえて、6月15日に査読会議とプログラム編成会議を行い、プログラムを策定しました。論文査読を含めた各分野の投稿数、採択数、採択率は次の通りです。

	投稿数	採録件数	採録率
A: モデル・アルゴリズム・プログラミング	19	8	42.1%
C: アーキテクチャ・ハードウェア	20	8	40.0%
D: データベース	15	2	13.3%
E: 自然言語	22	3	13.6%
F: 人工知能・ゲーム	17	9	52.9%
G: 音声・音楽	5	3	60.0%
H: 生体情報科学	14	5	35.7%
I: 画像認識・メディア理解	31	11	35.5%
J: グラフィクス・画像	35	9	25.7%
K: ヒューマンコミュニケーション&インタラクション	47	19	40.4%
L: ネットワークコンピューティング	54	17	31.5%
N: 教育・人文科学	18	4	22.2%
O: 情報システム	11	5	45.5%
合計	308	103	33.4%

プログラム確定後、FIT2005 学術賞選定委員会は所定の選定手続きを経て、採録された査読付き論文のなかから優秀であると認められる次の7編をFIT2005 論文賞最終候補に選びました。

- ・ひとつの高適合文書を高精度に検索するタスクのための評価指標 (酒井哲也)
- ・テンス・アスペクト・モダリティの翻訳における機械翻訳システムの誤りの調査 (村田真樹)
- ・携帯電話用プロセッサで動作する大語彙連続音声認識の並列処理 (石川晋也)
- ・仮想音環境のための頭部伝達関数コーパス (渡邊貫治)
- ・生成・識別ハイブリッドモデルに基づく半教師あり学習 (藤野昭典)
- ・拡張現実感のための実画像のぼけ推定に基づく画像合成手法 (奥村文洋)
- ・表情譜: タイミング構造に基づく表情の記述・生成・認識 (川嶋宏彰)

以上の皆様には、心からお慶び申し上げます。

末筆ながら、査読プロセスの運営および論文賞候補選考にご尽力いただいたFIT2005プログラム委員会およびFIT2005学術賞選定委員会の皆様、短い期間に論文査読の責務を果たしていただいた査読者の皆様に深く感謝いたします。

FIT2005 プログラム委員会
FIT2005 学術賞選定委員会
委員長 西田 豊明